

■堀秀成 国学者、神官。藩士を辞めて国学を研究，諸国を歴訪して神事を教示，〈維新〉直後の神道昂揚に貢献大。

ほりひでなり

群書類従完結1819＝江戸大名小路の古河藩邸に生まれる。父は藩士堀重遠，母は石川太郎の女。

・ ・ ・ ・ ・ 1826＝ 7歳：書を小山霞外，
日本外史・ ・ 1827＝ 8歳：馬術を藩士土岐丹次郎，漢籍を同小松尚七，
シボク事件・ 1828＝ 9歳：槍術を同鈴木準蔵にそれぞれ学び始める。

富嶽三十六景1831＝12歳：藩主近習，

高島砲術・ ・ 1834＝15歳：納戸役・公用方見習。谷正太夫に山鹿流兵学を学び，これら馬槍術兵学はすべて免許を与えられた。

・ ・ ・ ・ ・ 1836＝17歳：「職原抄支流」をみて制度学を志す。
大塩平八郎乱1837＝18歳：
適塾オブン・ 1838＝19歳：「父重遠没により家督を継いだが，

天保改革始・ 1841＝22歳：「弟重清に譲り致任。
天保改革弾圧1842＝23歳：「国学を志して，

阿部正弘首座1845＝26歳：
孝明天皇・ ・ 1846＝27歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1848＝29歳：「この年まで諸家について学んだ。なかでも本居門下の富樫広蔭に入門したことが以後に影響を与え，生涯を主として音義説の研究に励んだ。

北斎没・ ・ ・ 1849＝30歳：陸奥国涌谷に滞在し，
国定忠治磔・ 1850＝31歳：駿河国江尻に居を移し，
尊徳報徳論・ 1851＝32歳：甲斐国市川に転居。
ペリー来航・ 1853＝34歳：

安政大地震・ 1855＝36歳：

蕃書調所・ ・ 1857＝38歳：*徳川斉昭の召で「古事記」「音義」を講じ，「醜能御楯」を著わし献上。この書は孝明天皇の天覧に供された。

桜田門外変・ 1860＝41歳：
「その後，著述活動をしながら，請われて諸国を歴訪し，神事の古式等を教示。

禁門の変・ ・ 1864＝45歳：

明治維新・ ・ 1868＝49歳：
戊辰戦争終・ 1869＝50歳：「諸国皇学校建設の公命により，下野国皇教示となる。
初の日刊新聞1870＝51歳：宣教大講義生・権少博士. 少博士。

学問のすすめ1872＝53歳：*明治天皇に「神武紀」を進講し，教部省十等出仕兼中講義，次いで大講義に任ぜられ，
明治6年政変 1873＝54歳：大教院講師長。

初の民間工場1875＝56歳：伊勢神宮禰宜，
三つの内乱・ 1876＝57歳：権少教正，
西南戦争・ ・ 1877＝58歳：学習院語学教示，
大久保暗殺・ 1878＝59歳：*伊勢神宮教院教授を最後に退任，以後，琴平をはじめ全国を巡り講義し，神道の昂揚に大いに尽力し，

明治14年政変1881＝62歳：
新体詩抄・ ・ 1882＝63歳：

国民之友始・ 1887＝68歳：「没した。
「音義大全解」「仮名本義考」「音義本末考」「磯山千鳥」「言霊妙用論」「醜能御楯」「古伝顕幽考大綱」など，語格・文法・随筆・有職・神道・法制に関する膨大な著作がある。